



～国東小だより～

ひがしっ子 第7号



令和4年9月30日

～実り多い秋に～

勉強の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・何をするにも気持ちのよい季節となりました。コロナ禍で制限のある学校生活が続いていますが、そのような中でも、子どもたちには充実した学校生活を送ってほしいと考えています。すべてにおいて優先されるものは子ども達の健康安全です。感染防止対策を継続しながら、「安全」と「学び」の両立を目指して、実りある日々を過ごしていきたいと思えます。保護者様、地域の皆様には、本校の教育活動につきまして、引き続き御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

9月の様子から



☆下野市新聞の日 9/13(火)は今年度3回目の「下野市新聞の日」でした。どのクラスでも、子どもたちが熱心に新聞を読んでいる姿が見られました。難しい語句の意味を調べたり、記事の感想を書いたりする活動を通して、新聞に親しむことができました。

低学年の児童も、興味をもって、自分のお気に入りの記事を探していました。



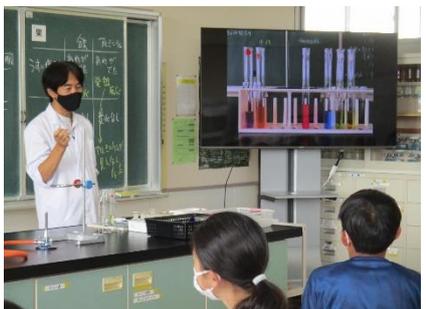
☆情報に関する学習



左の写真は、下野市教育委員会情報教育アドバイザーの先生から、タブレットの正しい使い方について、教えていただいている様子です。子どもたちは使い方も慣れ、学習でたくさん活用しています。同時に情報モラル教育も進めています。

☆大型提示装置の活用 前号でもお知らせしましたが、教室に大型提示装置(大型モニター)が入り、授業で有効活用しています。以前のテレビと比べて画面が大きく、大変見やすくなりました。

(写真は、左から、6年生理科・3年生算数・1年生国語の授業で活用している様子です。)



～地域との関わり～

5年生 稲刈りの体験学習

9月26日(月)に5年生が稲刈りの体験学習をしました。初めに、稲刈りの方法を地域の方から教えていただきました。子どもたちは徐々に鎌の使い方にも慣れ、予定より短い時間で終わることができました。

子どもたちのためにご協力くださった地域の皆様、大変ありがとうございます。感謝申し上げます。



～小中一貫教育について～

下野市が推進している小中一貫教育は、各学校の経営方針と児童生徒の実態をもとに、中学校区内の小・中学校が設定した「目指す子ども像」の実現を図るため、9年間の教育活動を見通して行う系統的な教育です。国分寺中学区でも、目指す子ども像

学び合い高め合う子ども 主体的に人や社会に関わる子ども 心身共に健康で自分を大切にする子どもの実現に向けて、国分寺中・国分寺小・国分寺東小の職員が、4つの部会(学習指導部会・児童生徒指導部会・健康安全指導部会・地域連携部会)において実践研究課題を設定し、取組を進めています。

児童生徒の交流では、今後、あいさつ運動(10月)、作品交流(11月)、中学生による読み聞かせ(12月)などの活動を予定しています。



～ 携帯・スマホと学力について ～

携帯・スマホは、現在の生活では必要不可欠なものとなっています。連絡手段としてはもちろんですが、情報の収集、記録をする、音楽を聴く・・・たくさんことができます。自分のスマホを所有しているお子さんも学年が上がるにつれ、多くなっているのではないのでしょうか。しかし、便利なものも使い方次第で子ども達に悪影響を及ぼすものになってしまいます。

『スマホを使えば使うほど学力が破壊されてしまう——。』東北大学のある教授によると『家で2時間以上勉強しても、携帯やスマホを3時間以上触っていると、その学習効果が無駄になってしまう』という研究結果が報告されているそうです。

コロナ禍により、子どもたちが家の中で過ごす時間が増えていると思います。それにより、スマホやゲーム機を使う時間も自然と増えているのではないのでしょうか。これらを使う際の家庭での約束を改めて確認していただけますようお願いいたします。

また、学校でも学年に応じて情報モラルに関する指導をしていますが、タブレットを家庭に持ち帰り使用する際には、お子さんが正しく使っているか、保護者様に見守っていただきたいと思います。お世話になりますが、よろしくお願いいたします。



※ 本校のホームページに、学校だよりのカラー版を掲載しています。右のQRコードからご覧いただけます。または、「下野市けやきネット」トップページ

[<http://www.school.shimotsuke.ed.jp>]から、「国分寺東小学校」を選択してご覧ください。

